

○「委員と担い手のネットワーク活動」

(京都府京丹後市 久美浜地域会議)(平成31年度第10回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年2月21日(水) 14:00~16:00
- 場 所: 京丹後市久美浜町農業センター
- 出席者: 委員5人、推進委員5人
法人7社8人、農業会議、市、事務局
※委員10人、委員以外12人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

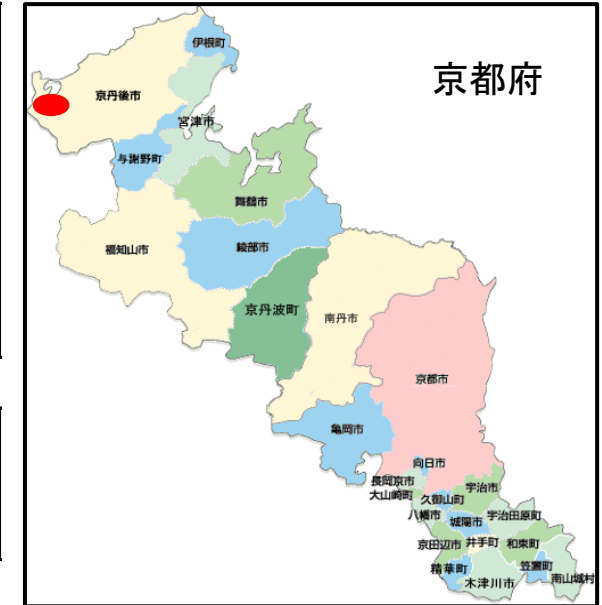
2 地区の特徴、状況、課題

- 旧村8地区からなる広大な地域で、三つの河川と山間部、平地、砂丘地、国営農地などにより、多様な農業が実施されている
- 山間部については、遊休農地が見られるが、農業法人11社が担い手の中心となっている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- ネットワーク久美浜会議 講演「地域に期待される農業生産法人」(府農業会議 安本事務局長)
- 意見交換
 - ・中間管理事業の事務が大変で処理人材がない。取り組みやすく
 - ・旧村単位でネットワーク活動を
 - ・一般社団法人に魅力を感じる。リーダーの確保が必要。多面交付金の広域化は必要
 - ・プランを作成済み。現在の就農者は70歳以上で5年は維持できるが10年後は厳しい
 - ・広域営農が必要になってくると思われるが、人材が必要

※今後は旧村単位のきめ細かいネットワーク活動が必要とされてきた。次世代での意見交換の話もある



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援